

## 幼児期に身についた「がんばる力」が思考力に繋がる

伊丹市立総合教育センター  
所長 太田 洋子

今年2月、ベネッセ教育総合研究所は、子どもを持つ保護者402名を対象に、2012年1月～2018年3月にかけて実施してきた「幼児期から小学生の家庭教育調査・縦断調査」の結果を公表しました。

この調査は、3歳児から小学4年生までの7年間、同じ子どもの様子や保護者の意識の変化を追い、幼児期から児童期にかけての子どもの育ちや保護者の関わりを明らかにすることを目的として実施されています。結果として以下の3点が指摘されました。

1点目は、幼児期に「物事をあきらめずに挑戦する」「自分でしたいことがうまくいかない時でも、工夫して達成しようとする事ができる」「一度始めたことは最後までやり通せる」といった「がんばる力」が高く身に付いた子どもほど、小学校低学年で「大人に言われなくても自分から進んで勉強する」などの学習態度も引き続き高い傾向があるということです。

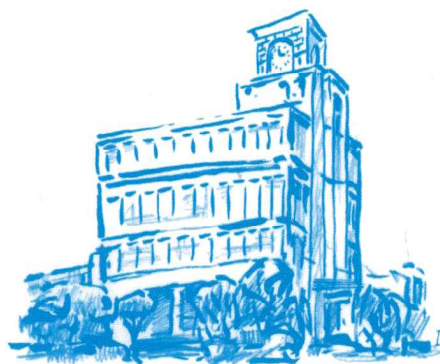
2点目は小学校低学年で学習態度や「物事をあきらめずに挑戦する」といった「がんばる力」が身につけていることが、小学4年生での「ノートを整理して書いている」「自分のことばで順序をたてて、相手にわかるように話せる」等の言葉のスキルや思考力の高さに繋がっているということです。

3点目は、親の関わりについては、子どもの意欲を大切にする態度や子どもが自分で考えられるように働きかけるといった養育態度が、子どもの「がんばる力」に影響を与えており、親の就労の有無や子どもが幼稚園、保育所出身であるかによる違いは見られないということです。

この結果は、これまで感覚的に捉えられていたことが、データで示されたという点で大きな意義を持つものです。幼児期に培われた「がんばる力」が基礎となり、低学年での主体的な学習態度や思考力が育ち、それが小学校4年生での言葉の力や思考力の高さに繋がることから、幼児教育の大切さが明示されたと捉えられます。

ただ、幼児期の「がんばる力」は子どもたちのやりたいことを好きなようにさせていて身につくものでしょうか。幼児の教育・保育に関わる指導者は、子どもたち一人ひとりの状況を把握し、計画的な環境構成や教材を工夫することが必要です。また、子どもたちへの場に応じた言葉かけが、「がんばる力」を育てるのだと思います。今回改訂された幼稚園教育要領、保育指針等は双方の整合性を図るとともに小学校とのつながりを意識した構成になっています。学校園・保育所が幼児期から小学校、中学校へと子どもたちの成長を「連続した営み」として捉え、保護者と手を携え、その段階で必要な力をしっかり子どもたちにつけて送り出すことが子どもたちの学力向上に繋がるのです。

(引用文献；ベネッセホールディングス「幼児期から小学校4年生の家庭教育調査・縦断調査」2019年)



全国学力・学習状況調査(平成31年度)は、昨年までと比べて

**内容が大きく**変化しました。

小学校算数より問題を掲載

結果を今後  
活かすには？

クイズに  
挑戦！

クイズ①  
全国学力・  
学習状況  
調査は  
小学校、  
中学校  
それぞれ  
何年生で  
行われて  
いるでしょ  
う？

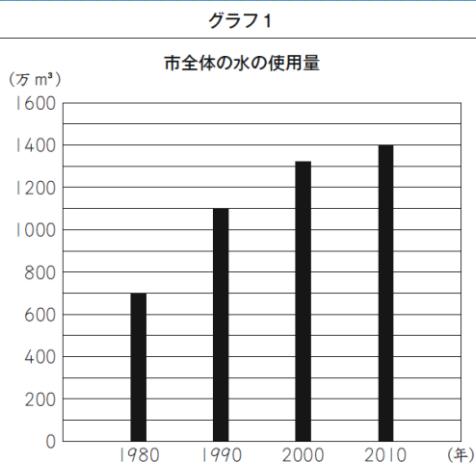
小学校  
第6学年  
中学校  
第3学年

クイズ②  
平成31年度  
の調査では、  
小・中学校  
では国語・  
算数(数学)、  
中学校では  
あと1教科  
ありました。  
それは何で  
しょう？

英語

2

かいとさんたちは、水を大切に使用しているのかどうかを知りたいと思い、まず、自分たちの住んでいる市では、水をどのくらい使っているのかを調べています。かいとさんは、グラフ1を見つけました。



(1) 1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、グラフ1からどのようなことがわかりますか。下の1から4までの中から、1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 市全体の水の使用量は、減っている。
- 市全体の水の使用量は、変わらない。
- 市全体の水の使用量は、増えている。
- 市全体の水の使用量は、増えたり減ったりしている。

(2) グラフ1の、2010年の市全体の水の使用量は、1980年の市全体の水の使用量の約何倍ですか。答えを書きましょう。

あやのさんが言うように、グラフ2とグラフ3を見ることで、2010年から2016年までの、1人あたりの水の使用量についてわかることがあります。2010年から2016年までの、3年ごとの、1人あたりの水の使用量について、どのようなことがわかりますか。下の1から4までの中から、1つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、グラフ2とグラフ3からわかることをもとに、言葉や数を使って書きましょう。

- 1人あたりの水の使用量は、減っている。
- 1人あたりの水の使用量は、変わらない。
- 1人あたりの水の使用量は、増えている。
- 1人あたりの水の使用量は、増えたり減ったりしている。

(4) さらに、かいとさんは、自分が家で水をどのくらい使っているのかが気になり、洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、下の式を考えました。

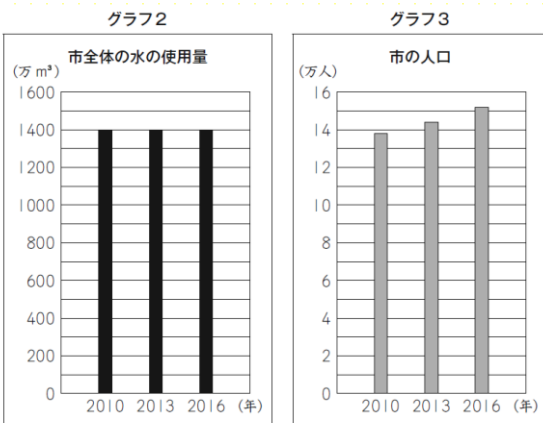
【かいとさんが考えた式】

$$6 + 0.5 \times 2 = \text{ア}$$

洗顔 | 回に 6 L 使う。 | 歯みがき | 回に 0.5 L 使う。  
1日 | 回洗う。 | 1日 2 回みがく。

【かいとさんが考えた式】の、アに入る数を書きましょう。

(3) 次に、かいとさんたちは、市全体の水の使用量には、人口が関係しているのではないかと思い、グラフ2とグラフ3を見つけ、2つのグラフをもとに考えています。



かいた 私たちは、水を大切に使用しているといえるのでしょうか。

ゆうか 市全体の水の使用量はわかりますが、1人で水をどのくらい使っているのかはわかりません。

あやの グラフ2とグラフ3を見ることで、1人あたりの水の使用量についてもわかります。

クイズ③ 教科以外に、質問紙があり、読書時間や、家庭学習の時間などを答えるものがある。○か×か。

分析その1

データの活用

新学習指導要領 算数では新領域として「**データの活用**」が示されます。情報化社会の現在、さまざまな情報の中から必要な情報を収集し、活用していく力が大切です。

今回の問題では、第3学年で学習する**グラフの読み取り**から、

- 資料の**特徴**や**傾向**を**読み取る**こと
- ①で読み取ったことを**関連付けると見える事柄**から、数量の大小を判断し、**理由を説明**すること。
- 四則の混合**した整数と少数の計算をすること。

以上3点が問われました。

分析その2

計算を使う場面の設定

(4)では**四則混合**の計算問題が出題されました。単に計算をするだけの出題では、平成19年度の正答率は**69.1%**、平成29年度は**66.8%**でした。今回のような文章の中で式が出ると、子どもたちにとって難しかったかもしれません。今後、授業では今までのように基礎基本の徹底を図りながらも、**計算の意味を理解し、場面に応じて計算を使う** 練習をすることが必要です。

分析その3

2の問題の出題学年・領域

- 第3学年 数量関係
- 第3・4学年 数量関係、数と計算
- 第3・5学年 数量関係、量と測定
- 第4学年 数と計算、数量関係

この問題では  
3・4年生の学習  
が大事だった！

クイズ④ 実際に問題を解いてみようと思う。



# 笹原中学校



## 笹トレ

# THE CHALLENGE SCHOOL

新たな取り組みに  
挑戦している学校を紹介!!

**笹トレ**とは、**3年生**が**2年生**へ、**2年生**が**1年生**へ**数学**を教えに行ったり、クラスで教え合ったりする「学び合い」とおして、学習を深めるための取り組みです。

第1回 笹トレ

- 1 演習
- 2 答え合わせ
- 3 教え合い
- 4 確認テスト
- 5 答え合わせ

### 笹原中学校 菰口校長先生に聞きました。

Q1. いつから始められましたか？

A1. 平成29年度から始めました。

Q2. 生徒の反応はいかがですか？

A2. 楽しみにしていると思います。生徒会のアンケートで「学校の自慢できる場所はどこですか」の質問で、「笹トレ」がNO.1でした。生徒たちの中でも「笹トレ」が浸透している表れだと思っています。

Q3. 「笹トレ」を始めてどんな効果がありましたか？

A3. 生徒側と教師側の2つの面でいい面がありました。まず、生徒側ですが、学ぶ意欲が出ています。上級生に教えてもらう、友だちと学ぶ、このことがとてもやる気につながっているのだと思います。教える側は前の週にプリントを受け取りどうやって伝えようか学習して当日を迎えることで責任感が芽生えるのではないのでしょうか。次に教師側ですが、上級生が教えにきますので、自分の受け持ちではない学年の様子が見られたり、共に学習しているところをサポートすることで、より生徒理解につながっていると思います。



### ここがポイント!!

- ① チーム（2～4人）で学ぶ
- ② 各クラス10人程度が他の学年へ行く  
残りの生徒は自分のクラスで学習する
- ③ 演習→答え合わせ→教え合い→確認テスト→答え合わせの手順で行う
- ④ 振り返りで感想、個人、チームの点数を書き次の目標とする

### 生徒アンケートから

☆笹トレなどでチーム学習することで理解が深まりますか？

3年生（92.3%） 2年生（85.3%） 1年生（90.0%）

☆一人よりもチームで学習する方が楽しいですか？

3年生（87.2%） 2年生（83.8%） 1年生（91.7%）

### 感想!

- ・笹トレで先輩と会話もでき、できる問題も増えたので良かった。（1年）
- ・笹トレティーチャーをしていたが、2年生に教えることで、3年生の内容を深められた。（3年）



学ぶ意欲にあふれています



ホワイトボードを使って説明

発行 伊丹市立総合教育センター  
所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1  
平日（水以外）9:00～21:00  
水 9:00～17:30 土 9:00～17:00  
電話 072-780-2480 FAX 072-780-2482  
休館日 日曜・祝日・年末・年始